

日々あらた

No.16

2021年1月1日発行

編集：広報委員会

明けまして おめでとう ございます

本年もよろしくお祈りします



シルバー人材センターへ入会して

深沢 尚子

定年退職になり「よし、これからは毎日ゆっくりとすごそう」と思って、4ヶ月余り過ぎた頃、やはり体も動かして仕事をしたいと思っていた所、友人にシルバーセンターへ入会したらと声をかけてもらいました。今は市役所庁舎内の清掃を2人で週に2日と3日の出勤する日があります。



8時15分より、1階フロアのモップ掛けから始めて、湯沸かし室、喫煙所、地下休養室等行っています。月曜日に掃除当番になった人が家に咲いている草花をトイレに飾っています。花を見ると心が安らぐと声をかけていただいた時は先輩方の心優しい思いやりを引き続いてやっつけて良かったねと2人で話をしています。午後にはトイレトーパーを持って3階まで階段を脚力強化「フウフウフウ着いた」。

毎月一度食事をしながら、翌月の日報を2人で話し合いをして決め、おしゃべりも楽しんでいます。仕事を通して素晴らしい友人に出会いました。



70歳過ぎても楽しんで仕事ができることに感謝をしています。シルバーセンターの担当して下さる方々も話しやすく、相談にも乗ってもらっています。これからも健康に気をつけて続けて行きたいと思います。

80歳でシルバーに挑戦

小林 芳清

シルバーに入会して2年になります。先輩の皆様方のおかげさまで、なんとか務めさせていただくことが出来ました。

人生80年を振り返ると波乱に満ちた年月であった。結婚し妻と2人で必死に働いた甲斐あって家を持つことが出来ました。2人の子供にも恵まれました。そのような幸せの中で突然妻は難病を発病しました。妻38歳の時でした。私は仕事と子供の世話と妻の介護で目の回るような忙しい日々を送りました。そのような状況の中職場の皆さんの温情と多くの方のお支えでなんとか定年まで働くことが出来ました。感謝の極みであります。

定年後はヘルパーの資格をとり、妻の介護とヘルパーの仕事を一生懸命やりました。妻は旅行が大好きだったので南は沖縄から北は北海道まで全国各地を車のトランクに車椅子をのせて旅をしました。7年前妻は静かに旅立ちました。妻の介護37年間は楽しい思い出が一杯です。80歳までシルバーに入会出来なかった理由は妻の介護でした。妻の死後しばらく家に居ましたが、少しずつ意欲が湧いて参りました。

そこで以前からお誘いのあったシルバーで働くことを人生最後の仕事として決意しました。シルバーの仕事をとおして地域社会に貢献したいと思ったのです。お陰様で経験豊かな仲間と楽しく働かせてもらっています。又多勢の皆様と知り合いになれて嬉しく思います。炎天下での草取り、朝4時頃からの消毒等大変なこともあります。お客様に喜んでもらえると思っても疲れも吹き飛んでしまいます。私の願いは「どうしたらお客さまに喜んで



もらえるか」いつも考えています。その為に「ケガ」を絶対にしないよう、みんなで注意しあいながら誠実に一生懸命に努力したいと思います。そうすることが次の仕事につながることを信じ、毎日頑張っていきたいと思えます。